



Yonago East Weekly

創立 / 1968年4月24日 事務所 / 米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 (0859)32 5531
 例会日 / 水曜日12:30 ~ 13:30 例会場 / ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 (0859)33 0911
 会長 / 新納哲雄 幹事 / 小谷維夫 会報 / 永島清孝 提供 / 東京印刷

出席報告

会員数76名 出席数 39名 欠席数 31名
 出席免除会員 6名(荒川(雄)君、村上君、田中君、松本(正)君、新宮君、永島(武)君)

出席率 57.53%
 前回補正出席率 3/12 73.97% 3/5 78.08%

欠席者

芦立君、足立君、藤尾君、深田君、秦野(愛)君、細田君、池淵君、石井君、北沢君、小西君、前田君、松本(啓)君、松浪君、永見君、長棟君、野坂(美)君、野坂(裕)君、野津君、尾沢君、小椋君、佐田山君、杉原君、戸田君、高橋君、田村君、種田君、豊嶋君、寺崎君、内田君、吉野君

ビジター

前田壽美君、鶴田和彦(米子南)

メーキャップ

宮本君、種田君(3/18倉吉)

今週のお祝い

夫人誕生祝: 11日新納哲雄君、17日松浪昭二君、26日佐田山有史君

スマイルBOX 9,000円 (累計733,500円)

本人誕生祝君: 小土井君、夫人誕生祝: 新納君、西部歯科医師会卓球大会で準優勝しました: 新納君、赤木、新宮が絵を出しております。案内はがきの絵は芦立会員の父上(元米子東会員)です: 赤木君、新宮君

会長挨拶

米山奨学生のコーチャンフィさんの送別会が3月13日にありました。当日は、新宮パストガバナーはじめ17名が参加しました。コーチャンフィーさんは涙を流しながら挨拶をされそれを聞いていた佐々木さんも目を真っ赤にしておられました。私は、昔から女性の純粋な涙がとても好きです。この会を企画して頂いた野坂会員、杉本会員に感謝します。コーチャンフィーさんは新宮先生から丁寧に描かれた雪の大山の絵を頂きとても感激されていました。アメリカのアトランタで寂しくなったら大山の絵を見て米子東ロータリークラブを思い出して下さいと新宮先生に代わって言っておきました。米山奨学生を決定するには多方面から審査を行い立派な方が選ばれますので国際理解と国際親善には大きな成果が収められています。又、米山奨学生が母国に帰られて日本やロータリーに強い好意と友情を持ち続けるはずです。当クラブは米山記念奨学会に創立当時より加入しております。月の第三例会日は100万ド

ルの食事を行っていますがその内、年二回は米山ランチとなっております。これは会員一人当たり1,000円程度です。又、会員の方には年間5,000円協力していただいております。米山奨学生は国際理解と親善という立派な事業を行います。これはロータリアンの善意の寄付で成り立っています。会員の皆様と共に100万ドルの食事に協力したいものです。

幹事報告

1. ロサンゼルスRI国際大会参加について
4月3日締切り
2. 米山梅吉記念館春季例祭のご案内
4月29日(火) 14:00 ~ 米山梅吉記念館ホール
3. 例会変更通知
鳥取中央RC 4月7日(月) 夜間例会
倉吉中央RC 4月23日(水) 夜間例会
各クラブビジター受付あり
松江RC 4月30日(水) 休会
ビジター受付なし



ROTARY SHARES ロ-列-は分かち合いの心

プログラム

「ソルトレーク紀行～国際大会の思い出」

宮岡博就 君

今日は気楽に聞いてもらえればと思います。ロータリーは入ることが目的ではなく活用することだと思います。ロータリーをどう自分の生活に生かし活用してゆくかです。これを穿き違えるといけな。そのキーワードは時間です。時間が早いか遅いかこれは決定的な要素になります。この度ソルトレークへ行ってまいりましたがとても楽しくまた、自分の仕事にもとても参考になりました。ソルトレークはモルモン教の本部がある所ですが、その宗教はどんなポジションにあるのか、国際大会とは何なのか、もうひとつは今話題のiPSについて話をします。私の出身の名古屋大学口腔外科が主催して日本再生医療学会を名古屋で二日間やりました。日本中から再生医療をやっている人が集まりましたが日本には2,000なんん人しかいません。今日本は時間と共にいろいろな事が遅れてきている。法律はあるが運用が悪い。現場を知らない、ものを見ていない人が頭の中でものを教わったとして物事の規範を作る。そうするうちに何から何でも遅れてしまい、がんじがらめの作文になってしまう。物事は知識として判っていても実感しないと分からない。皆さんの乳歯をバンクにストックしておけば将来の病気に対して完全に違う臓器を作ることが出来るかもしれないところまで来ている。でも日本では規制ばかりで大きな国策を考えない。アメリカのウイスコン州は3,000億円もの金を出す。そんなものには勝てない。ですから時間が勝負です。私たちは若い人たちの活力をもっと有効に使わないといけません。

それではソルトレークの話をする。行って見て非常に楽しかったです。昨年6月17日～19日にありました。ソルトレークはユタ州にあり千年に亘りアメリカ中に塩を供給し続けています。ホストイベントとしているんなオペラとか、セレモニーとしてモルモン教の合唱団がありますが、チケットがなかなか手に入りません。いろいろな楽しい

催しがありロータリーを楽しむとはこんな事かとも思いました。ソルトレークはロッキー山脈の西側に位置し西部高原地域の経済・文化の中心地となっていない。特に金の産出量は全米で1位2位を争っています。シリコンバレーのようなIT産業の発展をめざしソフトウェアバレーとして誘致に乗り出している人口18万人の都市です。周辺には雪質の良いスキー場があり2002年には冬季オリンピックが開催されています。歴史としては、モルモン教団とイエスキリスト教会が開いた町であり、1847年に東部からやってきたモルモン開拓者が拠点を置いたことが町の始まりです。周辺は荒野で苛酷な環境であったため、旅の休息地として駅馬車や大陸横断鉄道の要所として発達してきました。また、モルモン教の博愛と慈愛の精神から第二次大戦で強制収容された日系人を積極的に受け入れたことから今でも日系人の多い町となっております。ここは出生率が高いところです。モルモン教は純潔の立法で妊娠中絶や結婚前の肉体関係・離婚を禁止しています。そして飲酒・喫煙・麻薬の類も禁止されています。戒めにより収入の十分の一を納めることになっており、それを収めないと神の福音を得られない。但し義務ではない。そのお金は集会所の建設とか維持・管理・会員の活動費以外に用いることは禁じられています。しかし、その内容は公表しない。明治4年に岩倉具視がこのソルトレークへ来ております。

国際ロータリーの理事に日本人は2名おりますが、お金の額からしてもっと出てもいいのではないかと思います。日本に対して不利な議題が出てそれをすぐ解消しようとして日本に連絡しても時差の関係等でうまく出来ない。官民あげて日本が日本らしいリーダーシップを政財界の人々が積極的に発言して実践しないと世界のトップに立てないのではないかと強く感じます。尻切れトンボのような話の放談で失礼しました。

ロータリーへの想い

〈 原稿提出のお願い 〉

会報リーダー 永島清孝

7月から、毎週、週報に「ロータリーへの想い」を掲載しておりますが、現在、提出が全くありません。早期の提出は大歓迎ですので、順番関係なく、皆様からの提出をお待ちしております。どうぞ、ご協力宜しくお願い致します。

次回プログラム

3月26日 「ガバナー補佐報告」
第2グループガバナー補佐 宮本守 君
4月2日 「ロータリーの友紹介」 雑誌委員
「市制報告について」 尾沢三夫君

4月9日 「ドイツを語る」
ドイツを語る会 事務局長 渡辺真知子氏
16日 「介護について」
前畑祥子君